３　題材の目標および題材構想

「匠の技を生かして，ものづくりに挑戦だ　～相かきつぎを用いた製作～」（13時間完了）

(1) 題材の目標

①　ものづくりに関心をもち，意欲的に作業を進めることができる。

（生活や技術への関心・意欲・態度）

②　作業工程を考える中で，効率よく作業を進めることができる。　　　　（生活を工夫し創造する能力）

③　安全に留意して正しく工具を使い，加工できる。　　　　　　　　　　　　　　　　 （生活の技能）

④　接合に関する知識を身に付けている。　　　　　　　　　　　　　（生活や技術についての知識・理解）

(2) 評価規準

|  |  |
| --- | --- |
| 生活や技術への関心・意欲・態度・・・【関】 | ものづくりに関心をもち，進んで仲間と協力して製作に取り組み，意欲的に作業を進めることができる。 |
| 生活を工夫し，創造する能力　　・・・【工】 | 作業工程を考える中で自分が考えた構想を図面に表し，適切な加工方法を導き出して作業を進めることができる。 |
| 生活の技能　　　　　　　　　　・・・【技】 | 製作に必要な工具（さしがね，両刃のこぎり，のみ，げんのう，きり等）を用いて安全に正しく加工することができる。 |
| 生活や技術についての知識・理解・・・【知】 | 接合方法や接合順序を理解して，製作に生かし，説明できる。 |

(3) 題材構想

|  |  |  |  |
| --- | --- | --- | --- |
| 学習過程とねらい | 時数 | 学習活動 | 教師の支援・留意点　☆評価規準 |
| １　構想計画  　○日常生活を振り返り，決められた条件の中で製作計画を立てる。 | ２ | １　構想を練る。  ・使用目的や使用条件を満たすにはどうすればよいか考える。  ・丈夫な作品にするための接合を考える。 | ・考えが深まらない生徒には，例示を見せ，はっきりイメージさせることで製作意欲をもたせる。  ・どのような作品にするか，班で意見を出し合い，意見を共有することで作品製作に生かすように伝える。  ☆話し合いを通して使用目的や使用条件を考え，自分の作品に生かそうとしているか。  （授業の様子）【関】 |
| ２　材料加工  　○計画に沿って材料を加工する。 | ４ | ２　材料を加工する。  ・材料取り図を基に材料にけがきを行う。  　・切り代と削り代を考えて寸法線を引く。  ・両刃のこぎりを使って材料を切断し，かんなやベルトサンダで寸法を揃える。 | ・構想通りの作品に仕上げるためには，けがきが大切であることを伝え，けがきが終わった段階で全員の作品に目を通し，チェックを行う。  ☆切り代と削り代を考慮したけがきができたか。  　　　　　（工具の使い方）【技】  ・使用する工具は，必ず示範し，安全な作業を心掛けるよう注意を促す。  ☆正確な材料取りができたか。  　　　　　（工具の使い方）【技】 |
| ３　組立て  　○相かきつぎを取り入れることで丈夫な作品をつくる。 | ６ | ３　接合する。  　・仮組立てを行う。  ・見通しを考えた順序で接合を行う。  けがき　のこぎり引き  のみうち  ・相かきつぎを行う。  ・くぎ接合を行う。  ・要所ごとに仮組立てを行い，板の組み合わせや釘の位置を揃え，修正していく。 | ・机間巡視を適宜行い，示範を通して，作業に取り組みやすいようにしていく。  ・作品製作がうまくいかなかった場合，一度作業を中断し，どこがうまくできなかったか，意見を出し合い，修正できるよう案を出し合わせる。  ・示範することで工具の使い方や手入れの仕方，力加減等，作業が効果的に進められるようにする。  ☆安全に留意して正しく工具を使い加工できるか。（活動の様子）  【技】 |
| ４　日常生活に生かす。  　○使用してみて気付いたことを話し合う。 | １ | ４　製作の振り返りを行う  　・自己評価を行う。  　・班員の作品を見て感想を述べ合う。  　・作品の紹介をする。  　・環境を守るために自分たちでできることを話し合う。 | ・日常生活で技術が必要な場面を考え，これからどのようにものと接していけばよいか考え，意見を挙げさせる。  ・環境に目を向け，技術が担う役割についても考えるようにさせる。  ☆自分の意見をもつことができたか。（ワークシート）【関】【工】【知】  （テスト）【知】 |